

## 国内外



## 7.7◇国債購入額、過去最高

日銀は、6月の長期国債の買い入れ額が過去最高の16兆2,038億円(簿価ベース)に達したと発表した。これまで最高額だった2016年4月の11兆5,771億円を4兆6,267億円上回った。海外発の金利上昇圧力を受け、長期金利を抑え込むために国債購入が急増した。

## 7.12◇企業物価、9.2%上昇

日銀は、6月の国内企業物価指数(2020年=100、速報)を発表した。前年同月比9.2%上昇の113.8となり、3か月連続で過去最高を更新し、16か月連続で前年を上回った。ロシアのウクライナ侵攻などにもなう原油や原材料価格の高騰に加え、円安による輸入価格上昇が影響した。

## 7.13◇米消費者物価、9.1%上昇

米労働省は、6月の消費者物価指数(CPI)が前年同月より9.1%上昇したと発表した。9%台の上昇率は1981年11月以来、約40年半ぶり。エネルギーや食品を中心に値上がりが続き、3か月連続で8%台の上昇となっていた物価高はさらに加速し、前月比でも1.3%上昇となった。

## 7.21◇貿易赤字、最大7.9兆円

財務省は、2022年上半期(1～6月)の貿易統計(速報、通関ベース)を発表した。全体の輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は7兆9,241億円の赤字で、比較可能な1979年以降で最大となった。ロシアのウクライナ侵攻にもなう資源高と円安進行で輸入が膨らんだことが要因。

## 県内



## 7.13◇風力メンテ訓練施設、能代火力にも

東北電力は、秋田火力発電所の構内に設置を予定していた風力発電向け風車のメンテナンス技術者を育成する訓練所のうち、一部施設を能代火力発電所構内に設置すると発表した。訓練に使う大型部品を置くスペースを確保するため2か所に分散する。運用開始は10月の予定。

## 7.14◇「県民割」、8月末まで延長

県は、観光需要喚起のため県内での宿泊費を割り引くキャンペーンを8月末まで延長すると発表した。名称は「『秋田へGo!』秋田を旅しようキャンペーン」に変更する。「県民割」への政府からの補助が8月末まで延長されることにもなう措置で、4度目の延長となる。

## 7.15◇官民でエネ会社設立

大潟村は、県内企業と地域エネルギー会社を設立した。新会社の名称はオーリス(ORES)。資本金は1,800万円で、村と村内外の3社が出資した。村は2050年を目標に「自然エネルギー100%の村づくり」を掲げており、新会社を中心となって脱炭素に向けて計画を進める。

## 7.22◇県、警戒レベル2へ引上げ

県は、新型コロナウイルスの感染が急拡大していることを受け、流行状況に応じた感染警戒レベルを「2(警戒強化)」に引き上げた。子どもたちが夏休みに入り、盆休みを控えた人々の往来も増える時期と重なることから、警戒を強化する必要があると判断した。